

2019

年度版

2019年1月発行

「ビジュアル」

ナーシングメソッド

統一した看護手順書・技術動画で安心な看護を提供！
手順書の更新やさまざまな技術指導に役立ちます

約 **330** テーマ

新テーマ続々公開中!

制作協力 聖路加国際病院

2019年度予定

テーマ数は変更する場合があります



第14回 日本eラーニング大賞

日本電子出版協会 会長賞

医療系eラーニング全国交流会会長賞

業界初! ダブル受賞!



いつでも
何度でも
繰り返し
学べる

根拠に
基づいた
最新の手順書

手順書を
簡単に
編集できる

**無料デモ体験
できます!**

ビジュアルナーシングメソッド 検索 🔍



Gakken

「ビジュアル」 ナーシングメソッド

4つの ご利用サイクル

学研メディカルサポートでは、「看護手順書」「技術動画」「テスト」「評価表」の4本立てで
看護師の技術習得をサポートする「ビジュアルナーシングメソッド」を提供しています！

1 看護手順書で手技を学習

押さえてほしい「根拠」や「コツ」、
「医療安全」「感染対策」の視点も学習できる

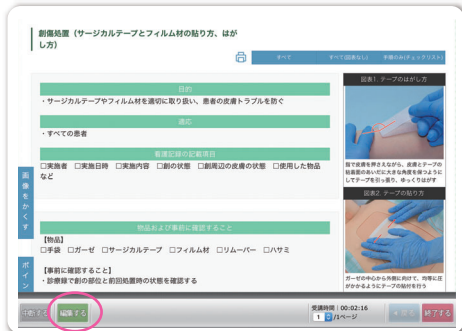
創傷処置（サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方）

手順	ポイント（根拠・安全対策・感染対策・コツ・関連項目）
1 創傷処置の目的と方法を説明して患者の同意を得る	
2 必要物品を準備する	【感染】ハサミや物品を準備するトレイは、あらかじめアルコールで拭いておく
3 手指衛生を行い（清潔・無菌操作の前）、手袋を装着する	【感染】創部との接触による感染を防止する
4 あらかじめ、固定するガーゼの大きさに對して必要な長さ、枚数のテープをトレイに準備しておく	
5 創部を露出する	【コツ】患者の羞恥心に配慮し、不要な露出は避ける
6 テープをはがすことを患者に伝える	
7 【伸びないサージカルテープをはがす場合】 a. 指で皮膚を押さえながら、皮膚とテープの粘着面のあいだに大きな角度を保つようにしてテープを引っ張り、ゆっくりはがす 	【根拠】強く引っ張ってはがすと炎症の原因となる 【コツ】皮膚の状態を確認しながらゆっくりはがす
8 b. 固定したテープをはがしたのち、ガーゼをはがす	
9 【伸びないサージカルテープを貼る場合】 a. ガーゼのざらつきや段差のない面を創部に当て、ガーゼの中心から外側に向けて、均等に圧がかかるようにテープの貼付を行う 	【根拠】 ・ガーゼに均一に圧をかけるため、中央から貼付する ・片側から貼って、引っ張りながら逆側を貼付すると、テンションが一定にかからず、皮膚が引っ張られたり、テープの端が浮いたりしてしまう 【コツ】長期間貼付をしている場合は、同じ部位の皮膚に刺激が加わるのを避けるため、前回貼付したテープ位置から少しずつずらす



〈看護手順の管理をサポートする便利機能〉

編集機能



更新お知らせ機能

テーマ	項目	手順	動画	テスト	補足	評価表	学研更新
VNMG005_包帯法（螺旋帯）		手順	動画	テスト	補足	評価表	学研更新
VNMG010_包帯法（蛇行帯）		手順	動画	テスト	補足	評価表	学研更新
VNMG020_包帯法（亀甲帯）		手順	動画	テスト	補足	評価表	学研更新
VNMG030_包帯法（三角巾）		手順	動画	テスト	補足	評価表	学研更新
VNMG040_褥瘡処置		手順	動画	テスト	補足	評価表	学研更新
VNMG050_創傷処置（サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方）		手順	動画	テスト	補足	評価表	学研更新

学研側で定期的にコンテンツを見直し、最新の情報に更新。
更新されたコンテンツは、「学研更新」ボタンでお知らせ！

導入サポート！



・最新のエビデンスに基づいた看護手順書が手に入る！
・教える側も教えられる側も共通した教材で学べる！

4

評価表で到達度を共有

評価表の出力方法は2種類

Webから入力/CSVで出力



印刷して紙で出力/記入



さらに! 指導・評価で使える
チェックリストもご用意!

3

テストで理解度を確認

学習した看護手順の理解度を自分で確認
しながら復習できる

テストも編集可能!

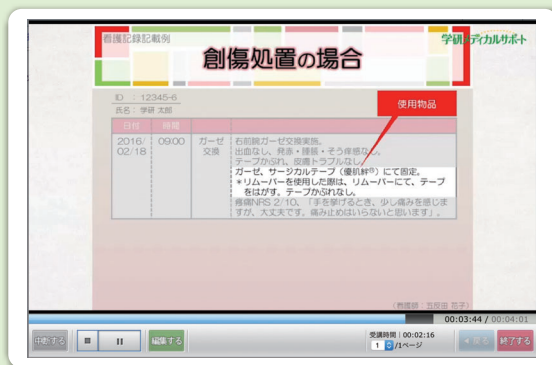
2

技術動画で場面を理解

個々の手技はもちろん、声かけから対応まで、
看護の場面を理解できる



数分間の動画でポイントや注意点を何度でも確認!



一部テーマでは「看護記録を書く際のポイント」も説明!

導入サポート!



- ・ 入室時の声かけから記録の書き方まで新人でもわかりやすい!
- ・ 短時間で繰り返し学べて、看護技術が身につく!

2019年度 配信テーマ一覧

(2019年4月～2020年3月)

基礎技術を準備・実践・記録
新人看護職員研修ガイドライン

新人看護職員技術チェックコース

カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
環境調整技術	■ 病室の環境調整	清潔・衣生活援助技術	■ 全身清拭(2人で行う場合)	与薬の技術	■ 経口与
	■ ベッドメイキング(2人で行う場合)		■ 全身清拭(1人で行う場合) [※]		■ 経皮与
	■ ベッドメイキング(1人で行う場合) [※]		■ 洗髪(2人で行う場合)		■ 口腔内
	■ 臥床患者のシーツ交換		■ 洗髪(1人で行う場合) [※]		■ 点眼
食事援助技術	■ 間接的嚥下訓練(嚥下体操)		■ 臥床患者の口腔ケア		■ 点耳
	■ 間接的嚥下訓練(アイスマッサージ)		■ 挿管患者の口腔ケア		■ 点鼻
	■ 安全な食事介助のための準備		■ 義歯のある患者の口腔ケア		■ 直腸内
	■ 食事介助		■ 入浴介助		■ 吸入法
	■ 経鼻胃管の挿入		■ シャワー浴介助		■ 吸入法
	■ 経鼻胃管からの栄養法		■ 陰部洗浄		■ アンブ
	■ 胃ろうからの栄養法		■ 陰部洗浄(膀胱留置カテーテル挿入患者)		■ 薬剤の
	■ 経腸栄養ポンプ: アプリックススマート		■ 手浴		■ ミキシ
	■ 経腸栄養ポンプ: カンガルーポンプ		■ 足浴		■ 皮下注
	■ 経腸栄養ポンプ: カンガルーポンプ		■ おむつ交換(2人で行う場合)		■ 筋肉内
排泄援助技術	■ 臥床患者の排尿援助		■ おむつ交換(1人で行う場合) [※]		■ 皮内注
	■ 臥床患者の排便援助		■ 寝衣交換(2人で行う場合)		■ 筋肉内
	■ 臥床患者の排便援助		■ 寝衣交換(1人で行う場合) [※]		■ 皮内注
	■ 導尿		■ チューブ類の取り扱い(寝衣交換の場合)		■ インス
	■ 膀胱留置カテーテルの挿入	呼吸・循環を整える技術	■ 整容		■ インス
	■ 膀胱留置カテーテルの管理		■ 鼻カニューレによる酸素吸入		■ インス
	■ 膀胱留置カテーテルの管理		■ 簡易酸素マスクによる酸素吸入		■ インス
	■ 膀胱留置カテーテルの抜去		■ ネブライザー機能付き酸素吸入器による酸素吸入		■ 静脈内
	■ 膀胱留置カテーテルの抜去		■ 酸素ボンベからの酸素吸入		■ 点滴静
	■ 浣腸(グリセリン浣腸)		■ 口腔内・鼻腔内吸引		■ ヘパレ
	■ 摘便		■ 気管切開患者の開放式吸引		■ 三方注
	■ 歩行介助		■ 挿管患者の開放式吸引		■ 中心静
	■ 車いすへの移乗		■ 挿管患者の閉鎖式吸引		■ 中心静
	■ 車いすでの移送		■ 人工呼吸器の準備		■ 中心静
活動・休息援助技術	■ ストレッチャーへの移乗	創傷管理技術	■ 人工呼吸器の管理 — 1. 呼吸器と気道の管理		■ 輸液カ
	■ ストレッチャーでの移送		■ 人工呼吸器の管理 — 2. 患者の観察		■ 輸液カ
	■ ストレッチャーでの移送		■ 人工呼吸器の管理 — 3. 日常のケア		■ シリン
	■ チューブ類の取り扱い(移乗の場合)		■ 人工呼吸器の管理 — 4. アラーム対応		■ シリン
	■ 体位変換(左右の移動)		■ ジェットネブライザーの実施		■ 輸血の
	■ 体位変換(上下の移動)		■ 超音波ネブライザーの実施		■ 輸血の
	■ 体位変換(仰臥位から側臥位)		■ 人工呼吸器の回路交換		■ 輸血中
	■ 体位変換(仰臥位から端坐位)		■ 体位ドレナージ		■ 麻薬の
	■ チューブ類の取り扱い(体位変換の場合)		■ 体温調整		■ 特別な
	■ 廃用症候群予防		■ 包帯法(螺旋帯)		■ 抗菌薬
	■ 関節可動域訓練(上肢)		■ 包帯法(蛇行帯)		■ 抗ウィル
	■ 関節可動域訓練(下肢)		■ 包帯法(亀甲帯)		
	■ 入眠・睡眠の援助		■ 包帯法(三角巾)		
	■ 体動・移動に注意が必要な患者への援助(認知症患者の場合)		■ 褥瘡の予防		
			■ 褥瘡の予防 — 摩擦とずれ予防		
			■ 褥瘡処置		
			■ 創傷処置(サージカルテープとフィルム材の貼り方、はがし方)		

まで学べるベーシック編は
に沿って **179** テーマをラインナップ！

テーマ	カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
と薬	救命救急 処置技術	■ 意識レベルの把握	苦痛の 緩和・ 安楽確保 の技術	■ 安楽な体位の保持
と薬		■ 一次救命処置 (BLS)		■ 冷罨法
内と薬		■ バッグバルブマスクの使用法		■ 温罨法
		■ ジャクソンリースの使用法		■ リラクゼーション法
		■ AEDの使用法		■ 精神的安寧を保つためのケア
		■ 気管挿管の準備と介助		■ スタンダードプリコーション (標準予防策) の考え方
		■ 止血法		■ 手洗い
内と薬		■ チームメンバーへの応援要請		■ 手指消毒
法(定量噴霧式吸入器)		■ 脈拍測定		■ 個人防護用具の着脱
法(ドライパウダー式吸入器)		■ 動脈触知(上肢)		■ N95 マスクの着脱
剤、バイアルからの の吸い上げ	症状・ 生体機能 管理技術	■ 動脈触知(下肢)	感染予防 技術	■ 滅菌手袋の装着
ング、プライミング		■ 動脈触知(頭頸部)		■ 滅菌ガウンの着用
注射		■ 腋窩検温		■ 滅菌物の取り扱い
内注射		■ 体温測定(鼓膜)		■ 清潔区域のつくりかた
注射		■ 血圧測定		■ 感染性廃棄物の取り扱い
リン製剤の種類・用法と副作用		■ 血圧測定(電子血圧計)		■ 針刺し防止策と針刺し後の対応
リン注射(専用シリンジ)		■ 血圧測定(下肢)		■ 洗浄・消毒・滅菌の取り扱い
リン注射(ペン型)		■ 瞳孔の評価	安全確保 の技術	■ 誤薬防止
内注射(ワンショット)		■ 呼吸音の聴取		■ 患者誤認防止策の実施 (患者確認)
静脈内注射		■ シリンジ採血		■ 患者・部位・手技名の誤認防止 (タイムアウト)に関する手順
リンロック		■ 真空管採血		■ 転倒転落防止策
舌栓からの静脈注射		■ 血液培養		■ 薬剤曝露の防止
静脈カテーテル挿入の準備		■ 咽頭培養		■ 放射線被曝の防止
静脈カテーテル挿入の介助		■ 胃液培養	死亡時の ケア	■ 死後のケア
静脈カテーテル挿入患者の管理		■ 尿の採取		
ポンプの使用		■ 喀痰採取		
ポンプの管理		■ 喀痰採取(吸引による)		
ジポンプの使用		■ 動脈血採血の準備と検体の取り扱い		
ジポンプの管理		■ 血糖値測定		
の準備		■ 12誘導心電図の装着と計測		
の実施		■ 心電図モニタの装着と管理		
中と輸血後の観察		■ パルスオキシメータによる測定		
の理解と管理		■ 身長測定		
な注意を要する薬剤の管理		■ 体重測定		
薬の用法の理解と副作用の観察		■ 胸囲測定		
ス薬等の用法の理解と副作用の観察		■ 腹囲測定(立位)		
		■ 腹囲測定(臥位)		
		■ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い		

※2019 年 2 月末公開予定

現場で使えるアドバンス編は
臨床カテゴリーを取りそろえた **73** テーマで実践力向上！

新人看護職員技術チェックコース **プラス⁺**

カテゴリー	テーマ	カテゴリー	テーマ
基本技術	■ 皮下埋め込み型ポートの管理	消化器	■ 腹腔穿刺
	■ ドレーン挿入患者の管理		■ 腹腔ドレーン挿入
	■ 局所麻酔における看護		■ イレウス管挿入患者の管理
	■ 胃瘻周辺部のスキンケア		■ ストーマサイトマーキング
	■ 弾性ストッキングの着用		■ ストーマ造設術直後の装具交換
	■ 間欠的下肢空気圧迫法		■ ストーマ装具の排泄物処理
救急	■ 救急カートの点検	検査	■ 腰椎穿刺
	■ 除細動		■ 骨髄穿刺
	■ ハイムリック法		■ 上部消化管内視鏡検査
	■ 窒息時の吸引		■ 上部消化管内視鏡検査看護
	■ 経口エアウェイ・経鼻エアウェイ		■ 下部消化管内視鏡検査
	■ 熱傷時の初期対応		■ 下部消化管内視鏡検査看護
	■ 胃洗浄における看護		■ 気管支鏡検査
	■ アナフィラキシー発症時の初期対応		■ 気管支鏡検査看護
	■ 病院内での成人に対する 二次救命処置（ALS）		■ 心臓カテーテル検査
手術	■ 硬膜外麻酔における看護		■ 心臓カテーテル検査看護
	■ 貯血式自己血輸血の採血		■ 血管造影検査
集中ケア	■ 脳室ドレナージの管理		■ 血管造影検査看護
	■ 動脈圧モニタ（準備）		■ 上部消化管 X 線造影検査
	■ 動脈圧モニタ（ラインの挿入）		■ 上部消化管 X 線造影検査看護
	■ 動脈圧モニタ（採血）		■ 超音波検査
	■ 動脈圧モニタ（管理）		■ 超音波検査看護
呼吸器	■ 経皮的気管穿刺（緊急時）		■ RI 検査
	■ 気管切開部の管理		■ RI 検査看護
	■ 気管切開チューブ交換の介助		■ CT 検査
	■ 人工呼吸器離脱（SAT、SBT）		■ CT 検査看護
	■ 人工呼吸器離脱（気管チューブの抜去）		■ MRI 検査
	■ 胸腔穿刺（胸水）		■ MRI 検査看護
	■ 胸腔ドレーン挿入（胸水）		■ X 線一般撮影
	■ 胸腔ドレーン挿入（気胸）		■ X 線ポータブル撮影
	■ 胸腔ドレナージの管理	その他	■ 陰圧閉鎖療法中の患者の管理
	■ 心嚢穿刺		■ 介達牽引・直達牽引の介助
循環器	■ 心嚢ドレーン挿入		■ 牽引中の患者の管理
	■ 体外式ペースメーカー挿入患者の対応		■ 神経根ブロックの検査前準備（病棟・外来）
	■ 心臓ペースメーカー植え込み術直後の対応		■ 神経根ブロックの検査前準備（放射線科）
			■ 神経根ブロックの検査介助
			■ ギプス巻きの介助
			■ 牽引中の体位交換

小児看護に必要な臨床の声かけ・技術を中心に **33** テーマをラインナップ！

小児看護コース

カテゴリー	テーマ
食事援助技術	<ul style="list-style-type: none">安全な食事介助のための準備食事介助（調乳）食事介助
排泄援助技術	<ul style="list-style-type: none">浣腸（グリセリン浣腸）
活動・休息援助技術	<ul style="list-style-type: none">ベビーカーの使い方入眠・睡眠の援助
清潔・衣生活援助技術	<ul style="list-style-type: none">口腔ケア小児の沐浴シャワー浴の介助おむつ交換
症状・生体機能管理技術	<ul style="list-style-type: none">バイタルサインの測定尿の採取身長測定体重測定頭囲測定静脈血採取パルスオキシメータによる測定
苦痛の緩和・安楽確保の技術	<ul style="list-style-type: none">冷電法温電法
安全確保の技術	<ul style="list-style-type: none">転倒転落防止策
呼吸・循環を整える技術	<ul style="list-style-type: none">酸素吸入（総論）酸素吸入（鼻カニューレ）酸素吸入（酸素マスク）口腔内・鼻腔内吸引
与薬の技術	<ul style="list-style-type: none">吸入法（総論）吸入法（ジェットネブライザー）吸入法（定量噴霧式吸入器）吸入法（ドライパウダー式吸入器）
救命救急処置技術	<ul style="list-style-type: none">意識レベルの把握一次救命処置（BLS）バグバルブマスクの使用法AED の使用法
その他	<ul style="list-style-type: none">プレパレーション

知識や技術の向上、現場での実践に役立つ **20** テーマをラインナップ！

在宅終末期ケアコース

カテゴリー	テーマ
在宅終末期ケア	<ul style="list-style-type: none">終末期とエンドオブライフケアの考え方終末期ケアへの意思の確認在宅療養の準備（情報源と収集すべき情報）退院前カンファレンス在宅療養の準備（患者と家族に提供すべき情報）訪問前準備（緊急体制の確立）訪問看護計画立案作成初回訪問時の注意点初回訪問（バイタルサインのチェック）初回訪問（服薬指導）初回訪問（帰り際）初回訪問（振返り）家族との関わり方チームアプローチ急変時の対応訪問看護報告書の作成エンゼルケアエンゼルケア(事例紹介) 動画のみグリーフケアグリーフケア(事例紹介) 動画のみ

Check!

2019年度は
緩和ケアコースを追加予定！

内 容

- 緩和ケアの理念
- 緩和ケアにおける看護師の役割
- 緩和ケア病棟と一般病棟の違い など

看護部全体で取り組み、実践能力(知識・技術・態度)の質アップ!



医療法人青仁会 池田病院

右:看護部長
堂地 由紀子 様

左:教育担当師長
精松 美穂 様

ビジュアルナースングメソッドの看護技術チェックリストを当院用に作成し、看護部全体で看護技術の標準化と技術の統一にとても役立っています。
また、週に1回実施している新人看護師研修(OFF-JT)では新人看護職員技術チェックコースの目標を設定し、ビジュアルナースングメソッドの視聴・シミュレーショントレーニング・評価を実施することにより確実に自信と実践能力の向上につながっています。

ビジュアルナースングメソッドの運用基準を明文化し、院内での活用を円滑に!



社会福祉法人 仁生社
江戸川病院

右:看護部長
田中 美香 様

左:教育担当
茅根 貴博 様

ビジュアルナースングメソッドの看護手順書・動画・テストの使用法とあわせ、技術チェックリストと看護技術評価表の使用法も明文化したことで、新人に対し各部署で統一された指導がはかれるようになりました。また、看護手順書の修正に際しても、関係部署への修正依頼方法を明文化し、看護手順書の整備に役立っています。

ビジュアルナースングメソッドが技術習得の近道に



一般財団法人 三友堂病院
三友堂リハビリテーションセンター

看護部教育委員長
須貝 美和子 様

看護技術の動画での学びはイメージトレーニングがしやすく、技術習得の近道になるため、新人看護師の技術習得過程に組み入れています。また、いつでも、誰でも、すぐに技術確認ができるようにビジュアルナースングメソッドを活用し、当院での必要な技術も加えて、看護技術手順書として各病棟に設置しています。

手順書・動画・テストをフル活用!



京都山城総合医療センター

助産師
竹村 綾香 様

利用してみて、看護技術の方法や手順が簡単に確認できることが良い点だと思います。動画は、見やすく必要なポイントがすぐわかるし、手順と解剖整理を関連させるとさらに理解が深まります。テストは、理解力を確認できる点がいいですし、患者へのケアの際重点な部分として意識できます。

受講費用 年度契約のみ ※全テーマ 2020年3月31日まで受講いただけます

▶ 学研ナースングサポート と併用の場合 年度契約のみ

併用 が お ト ク ビジュアルナースングメソッドとともに、学研ナースングサポート(講義配信サービス・別売り)の著名講師陣による講義をOFF-JTで活用すれば、さらに質の高いOJTが実施できます!

受講料金	20,000円/月(税別)
------	----------------------

▶ 単体でお申し込みの場合 年度契約のみ

受講料金	40,000円/月(税別)
------	----------------------

+ 単体でお申し込みの場合でも、オプションの追加ができます!

選べるオプション		
看護管理者特別コースⅠ	〈基礎・概論編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルを対象にマネジメントスキルの基礎を学ぶ	10,000円/月(税別)
看護管理者特別コースⅡ	〈実践編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルを対象とした病院・病棟に活かせるマネジメント術	10,000円/月(税別)
入退院支援・地域包括ケアコース	見てわかる! 病棟・外来・地域をつなぐ看護師へ成長できる実践のコツ	10,000円/月(税別)
学研介護サポート	新人・中堅介護職員が見ただけでわかる研修ツール	10,000円/月(税別)
学研訪問看護サポート	訪問看護にかかわるすべてのスタッフが学習できる!	15,000円/月(税別)

※オプションの詳細は学研ナースングサポートのパンフレットをご覧ください
※消費税の変更に伴い、2019年10月1日以降の受講費用より新税率を適用させていただきます
年度途中からの申し込みも可能です

お問い合わせ・資料請求は

株式会社 学研メディカルサポート

〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

☎ 03-6431-1228 (代表) 平日 9:00~18:00 担当: 営業企画部
FAX 03-6431-1414 **WEB** <https://gakken-meds.jp>